

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	ごみ減量対策課担当課長 内海 春信		
環境-08	実施事業	し尿収集事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	ごみ減量対策課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	汲取りし尿の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<p>・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。</p>

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等の	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	人口	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	22,923	22,179	当初予算(千円)	23,385			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	8,000	8,023	その他	8,086			
	一般財源	14,923	14,156	一般財源	15,299			
事業運営	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5			
	人件費(千円)	3,961	3,833	人件費(千円)	3,898			
	総事業費(千円)	26,884	26,012	総事業費(千円)	27,283			
	市民1人当りの経費(円)	152	147	市民1人当りの経費(円)	155			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	公共下水道の未整備地区や工事現場等の仮設トイレにおいて、し尿収集事業は必要不可欠な事業であり、今後も継続していく必要があることから、現状維持とする。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	生活環境の保全及び公衆衛生を図るため汲取りし尿の適正な処理は継続した実施が必要な施策であること、また、事業内容について変更がなく予算規模は過年度と比較して同程度であることから、妥当であると考えられる。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	継続して口座振替の推奨の周知を図り、手数料徴収を効率化する必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	賦課通知を送付するにあたって、口座振替を勧める文言記載を継続した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	継続して口座振替の推奨の周知を図り、手数料徴収を効率化する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	委託収集量(平成27年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	横浜市	
他市実績	1,030kl	13,058kl	9,714kl	1,162kl	26,674kl	14,327kl	0kl	333kl	0kl	

比較事項	許可収集量(平成27年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	横浜市	
他市実績	2,858kl	0kl	0kl	6,511kl	0kl	325kl	9,758kl	0kl	22,873kl	

比較事項	直営収集量(平成27年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	横浜市	
他市実績	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	7,408kl	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	し尿収集について、本市は多くの市と同様に委託又は許可による収集を実施している。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	処理手数料の口座振替世帯割合						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
効率的な集金体制の確保を行うため。	目標値	24.0	25.0	26.0	27.0						
	実績値	22.7	23.5	24.1							
	達成率	94.6%	94.0%	92.7%							

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	手数料徴収の効率化を推進できている。
-----------------------	--------------------